

- 日付・場所 2021年5月20日 (於:アイスランド・レイキャビク)
- 議長国 アイスランド (トールダルソン外務大臣)
- 参加者 8北極圏国 (全て対面参加)、6先住民団体
オブザーバー (日本を含む12か国・EUがオンライン参加)
- 主要議事



・議長国アイスランドが過去2年間の活動を総括。

・「**レイキャビク宣言**」(共同閣僚声明)に署名。

5つの柱 ①北極の人々とコミュニティ ②持続可能な経済発展 ③気候・グリーンエネルギー・環境・生物多様性
④海洋環境 ⑤強力なAC

・AC設立25周年で初めて策定された2030年までの**戦略計画**を採択。

7つの目標 ①気候変動対策 ②健全で強靱な生態系 ③健全な海洋環境 ④持続可能な社会発展
⑤持続可能な経済発展 ⑥知識とコミュニケーション ⑦強力なAC

・**AC議長国**がアイスランドから**ロシア**に交代 (任期は2年)。



© MFA Iceland

【ACメンバー対面出席代表者】

	議長(アイスランド): トールダルソン外務大臣
	カナダ: ガルノー外務大臣
	デンマーク: コフォズ外務大臣
	フィンランド: ハーヴィスト外務大臣
	アイスランド: グズブランドソン環境・天然資源大臣
	ノルウェー: ソーライデ外務大臣
	ロシア: ラヴロフ外務大臣
	スウェーデン: リンデ外務大臣
	米国: ブリンケン国務長官

●鈴鹿北極担当大使ステートメント(概要)

- ①過去2年間の議長国アイスランドの功績に対して敬意を表明。
- ②日本は、ACの基本方針に敬意を払い、北極の生態系や先住民の生活を尊重しつつ、持続可能な経済活動を追求すべきとの信念の下、ACの枠組において科学研究を活かして国際協力を推進。
- ③次期議長国ロシアのイニシアチブに期待。